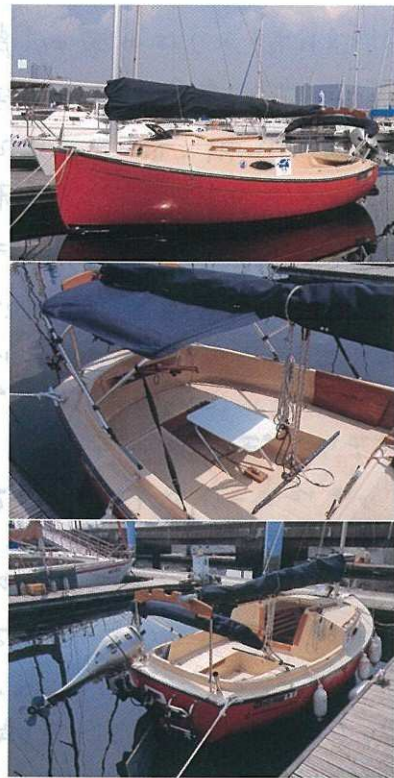


Wonderful Small



上／近くで見ると17ftとは思えない存在感。ハルカラーは、白が標準。オプションでレッド、ブラック、グリーンが設定されている
 中／2～3人のランチにも十分対応できる広さを持つコクピット。ビミニトップはオプション装備。テーブル下のクリートはセンターボードのアップ・ダウン用だ
 下／ラダーはアルミ製キックアップ式。船外機およびブラケットはオプションで、最大8馬力が搭載できる。ブームギャロウは標準装備



夢がふくらむ、 ミニ・クルーザー

文／森下嘉樹(本誌)、写真／山岸重彦(本誌)
 text by Yoshiki Morishita(KAZI), photos by Shigehiko Yamagishi (KAZI)

コンパクト サンキャット17 COM・PAC SUNCAT 17

16ftデイセーラーの建造からスタートしたコンパクト(米国フロリダ)は、開業から30年経った今も、小型艇を中心に据えたラインナップを展開している。

「サンキャット17」は、14ft(ピクニックキャット)、17ft(サンキャット)、20ft(ホライゾンキャット)の3タイプを揃える

キャットリグ・モデルの中間サイズであり、最新艇でもある。14ftの「ピクニックキャット」はキャビンの付かないデイセーラーだから、キャビン付きのモデルとしては最小艇という位置づけになる。

米国東海岸のトラッドな外観を持つサンキャット17は、妹分のピクニックキャット14と同様、OP級ディンギーのデザイナーとして知られるクラーク・ミルズが設計している。「艀装とセーリングが簡単で、快適な時間が過ごせるミニ・オーバーナイター」というのが設計コンセプトだ。

セールプランは、キャット・ガフ(1本マスト、ガフセール1枚)。このリグが帆走性能を損なわずにイージー・ドライブを実現させ、しかもフネ全体の雰囲気は大いに盛り上げている。

マスト自体は、グースネックの上部から倒せる、“Mastendr”と呼ばれるコンパクトのオリジナル製品だ。デッキ上のマストステップから倒すような大がかりな作業がなく、簡単にマストが倒れる。トレーラブル・セーラー建造経験豊富なビルダーであるだけに、トレーラブル・セーラーと

しての使い勝手や、艤装の工夫もお座りなものではない。

同様に、トレーラブル・セーラーであるための装備であり、最近のコンパクト・ヨットの特徴でもあるのがキール周りだ。サンキャット17にも装備されているセミ・ディープキール+センターボードは、風上航での帆走性能を高めつつ、ボードアップ時の吃水を浅くし、浅瀬へのアプローチやアンカリングができるようになっている。しかもこのセンターボードは、アップした時にはキール内に格納され、キャビンのスペースには何の影響も与えないという長所もある。

1ルームで構成されるキャビンには、6.5ft(198cm)のバースが2本設置されている。バース下は収納スペースで、コンパニオンウェイ下にはオプション艤装のポータブル・トイレが納まる。外観のアクセントになっているオープンポートも標準で装備され、船内への効果的な明かり取りになっている。シンプルな構成のキャビンだが、オーバーナイトとして使える広さと装備は十分にクリアしているといえるだろう。

取材艇のオーナー、富岡正樹さんは、ヤマハ24MS、同23、同25マイルディーと乗り継ぎ、4艇目のセールボートとしてコンパクト17を選んだ。コンパクトとともに購入候補になっていたのは、「ポッター19」だった。米国カリフォルニアにあるポッター社の主力も、やはりアメリカの伝統的な船型を持つミニ・クルーザーであり、ポッター19もサンキャット17と同様、良い雰囲気を出している。

サンキャット17を選んだ富岡さんは、東京湾でデイ・クルージングを楽しんでいる。「何でも1人で無理なくできるのがいい。それに、ムキにならずにヨットに乗れる(笑)」というのが富岡さんの感想だ。サンキャット17に乗っていると、その可愛いスタイリングに目が留まるのか、海ですれ違うヨットやボート、水上バスの乗客から手を振られることが多くなったとおっしゃる。

こういったトラッドなラインを残す小型デイセーラーは少なくないのだが、サンキャット17のように、外観やセールプランにこだわりつつ、機能的なキャビンを持たせたミニ・オーバーナイトは意外に少ない。

コンパクト社のウェブサイトによれば、サンキャット17は、設計者のクラーク・ミルズ自身が、彼の家族と遊ぶために設計した船だという。OP級デインギーを代表とする、数々のミルズ作品に通じる、健全でいて大らかなDNAは、たしかにサンキャット17にも受け継がれている。

夫婦や友人たちと賑やかに過ごすのもヨットだとすれば、自分だけの時間と空間を楽しむのもヨット。

サンキャット17は、どちらの遊び方にも満足できる有能な楽道家である。

【COM-PAC SUNCAT17】

全長：5.28m
全幅：2.15m
吃水：0.36m(ボードアップ) / 1.37m(ボードダウン)
船体重量：682kg
セール面積：14m²/150sq.ft
エンジン(オプション)：最大8馬力(船外機)
定員：5名
艇体価格：2,950,000円
(問)ヨットイングワールド
静岡県田方郡函南町平井1594-10
TEL：055-978-1477
FAX：055-978-1478
e-mail：info@yachtingworld.jp
http://www.yachtingworld.jp



上/コンパニオンウェイから見たキャビン内。いたってシンプルなレイアウトだが、十分な広さを持つ。198cmのバースの下は物入れ
下/コンパニオンウェイ下にポータブル・トイレのスペースが確保されている。キャビン両サイド後方は、コクピットロッカーになっている

船体のラインと、ガフセールが絶妙の雰囲気を醸し出している。セミロング・キールとセンターボードの組み合わせで、浅吃水を損なわずに帆走性能を向上させている

